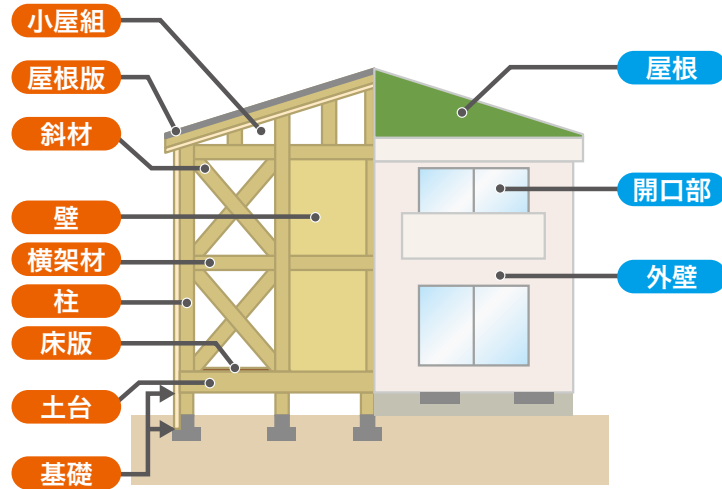


10年の契約不適合責任(瑕疵担保責任)

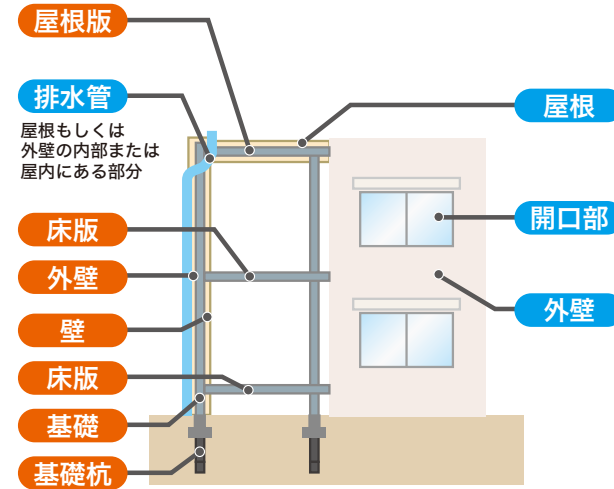
■木造(在来軸組工法)の戸建住宅の例

2階建ての場合の骨組(小屋根、軸組、床組)等の構成



■鉄筋コンクリート造(壁式工法)の共同住宅の例

2階建ての場合の骨組(壁、床組)等の構成



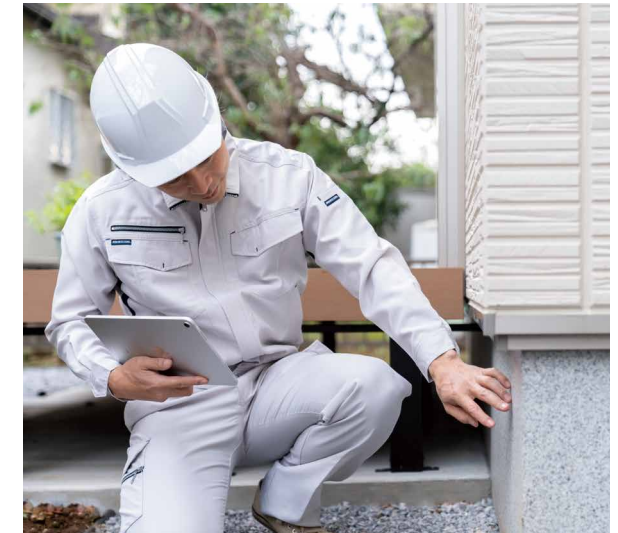
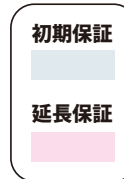
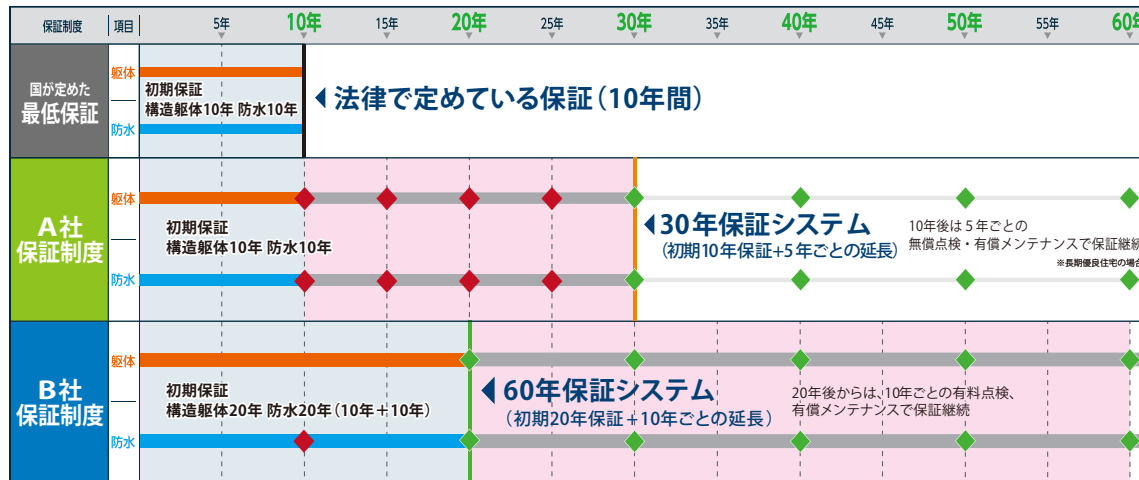
“10年保証”が法律で義務

構造耐力上主要な部分および雨水の浸入を防止する部分を対象に10年保証を義務付けています。引き渡し後10年以内に何らかの瑕疵(欠陥)が見つかった場合、無料補修などを行います。万一、住宅会社が倒産していた場合でも、補修を行った事業者に対して保険金が支払われます。

初期保証 構造耐力上主要な部分
延長保証 雨水の浸入を防止する部分
(一社) 住宅瑕疵担保責任保険協会HPを参考に作成

国が定めた10年保証と、各社の保証制度〈例〉

<保証(躯体と防水)と点検・補修サービス> ■ 初期保証期間(構造躯体) ■ 初期保証期間(防水) ■ 保証延長期間 ◆ 無償点検・有償メンテナンス ◆ 有償点検・有償メンテナンス



住宅会社では、国で定められている10年保証に加え、保証期間の延長制度や初期保証を20年にするなどのさまざまな保証サービスを提供しています。さらにアフターサービスとして、点検サービス(無償・有償)や補修サービス(無償・有償)をしている会社があります。